



本校の代表チームが MY PROJECT 全国 Summit 出場に決まりました！

プロジェクト名「イワシのお菓子で街づくり」

全国で約10万人の高校生が参加する課題探究プロジェクト発表の県大会(青森 Summit)が2月5日に行われました。その後上位4チームに選出され、プレゼンテーション、質疑応答の結果青森県代表となりました。この3月28日に東京大学の学術センターで全国代表上位48チームの一つとして発表をしてきます。



(MY PROJECT HP より)

(デリーー東北より抜粋)

「イワシパイ」探究プロジェクトこれまでの流れ

八戸特産のイカやサバの漁獲量が減っている…

豊漁の続くイワシを食品にしたら漁師さん・飲食店が助かるのでは？



協力してくれそうなお菓子屋さんに片っ端から電話



お菓子屋さんと家庭科室やお店で試作を繰り返す



産業フェスタで出品し完売…現在も菓子店で販売中



食べた人にアンケートを取り、さらに改良を試みる



イワシを使った食品で八戸市の漁師さんや飲食店の収入アップの希望が出てきた



(調理室での試作の様子)

* 審査員からは「着眼点」「行動力」「ワクワクしている感じ」「とにかく楽しそう」という点に高評価を頂きました。

昨年12月10日に2学年の全体発表会を行いました。各分野の代表チームは以下の通りです。

- 1 教育 「ICT を活用して個人の学習の定着度の差をどう補うか」
- 2 芸術スポーツ 「はっちでリッチな映画館」
- 3 自然・環境 「海洋プラスチックのアップサイクルとその経済効果について」
- 4 医療福祉 「八戸の食改善に向けて」
- 5 商業 「八食センターと地域住民」
- 6 工農水 「農業従事者を増やす」
- 7 観光 「イワシのお菓子で街おこし」

このうち、「海洋プラスチックのアップサイクルとその経済効果について」と「ICT を活用した教育」の班は八戸市のSDGs フォーラムで3月23日発表予定（午前中）です。時間が合えば、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



（産業フェスタでのイワシパイ出品）



（「はちのへ創造学」全体発表会の様子）

【1・2年生のみなさんへ】

1 大学受験で「総合的な探究活動」の内容を問われることが多い。

現3年生が総合型、学校推薦型で受験した際はかなりの率で「総合的な探究活動では何をやったんですか」「そこから何を学びましたか」と聞かれたようです。一般入試でも志望理由を提出させたり、小論文、面接試験を課したりする大学が多数あります。

2 何に疑問を持ち、どうすれば良くなるかを考えて行動？

疑問を持って何かに自発的に取り組み、どうやったら解決に近づけるかを検証する、というのは大学の学びそのものです。大学側もそのような姿勢、意欲を持った学生を求めています。

3 調べ学習の先にあるもの

例：青森県民は塩分過多で短命だから塩分を控えるべき…だけで終わらず
⇒塩分控えめレシピを作って試し、1カ月で塩分量を○g減らせたか検証
季節ごとにレシピを考える、年齢層も考えて実施したい等



（1年ワークショップの様子）

【プロジェクト発表交流会】

先日行われた八戸高校、八戸北高校、八戸東高校合同の「プロジェクト発表交流会」では他校の研究も見ることができました。移民や病原体、日本の教育問題にまで目を向けており、社会には様々な問題があり「課題解決能力」がますます必要になってきている、ということを実感したのではないのでしょうか。

1年生はすでに「はちのへ創造学」の予備段階でガイダンス・講演・ワークショップを行い、順調な滑り出しです。この号を課題設定の参考にしてください。2年生は取り組んだことで「何ができたか」「何ができなかったか」「どんな見通しを持ったか」を言葉にして表せるよう、考えを深めておきましょう。（Y. S.）